

<<2014年10月～12月にかけての「医療的ケア」に関するシンポジウム、学習会などのご案内>>

\*医療的ケアネット事務局で把握しているものです、他にもあればお教え願えれば幸いです。  
なお、お問い合わせや参加申し込みなどは、それぞれの主催者まで個々で直接お願いいたします。

▽各地での催しをご確認・ご利用いただければ幸いです。  
掲載以外のものも情報入手時点で適時追記いたします。  
皆様からの情報があれば事務局までご一報いただけると幸いです。

(2014年 10月 5日 医ケアネット事務局：N)

※ドキュメンタリー映画「普通に生きる」HP <http://www.motherbird.net/~ikiru/>

・各地上映予定は←”全国での上映日程”部分を

※ドキュメンタリー映画「ぼくは写真で世界とつながる～米田祐二22歳～」

11/1 (土) 上映会とトークショー&ライブの開催されます

篠山市立丹南健康福祉センター (上映協力券1500円)

10:30、15:00、18:30 開映 ↓上映案内チラシ

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/yoneda-sasayama-02.pdf>

11/2 (日):大阪府箕面市、11/3 (月・祝) 京都府八幡市 でも開催

(各開催チラシの下部部分にお問い合わせ先など表示あります)

[http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/10291106\\_850494904968741\\_9047396939675785505\\_n.jpg](http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/10291106_850494904968741_9047396939675785505_n.jpg)

\*ドキュメンタリー映画「ぼくは写真で世界とつながる」公式HP

<http://www.motherbird.net/~bokutuna/>

\*ドキュメンタリー映画「ぼくは写真で世界とつながる」FB

<https://www.facebook.com/bokutuna?fref=photo>

▽<栗原紀代美プロデュース米田祐二写真展～ぼくの宝もの～> 医ケアネットも後援しております。

※玄米食カフェ+古道具 白椿

10/1 (水)～31 (金) 定休日:火曜日 10:00～18:00

※兵庫医科大学ささやま医療センター玄関ホール

10/3 (金)～17 (金) 土日祝日お休み ↓開催案内チラシ

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/yoneda-sasayama-20141001-31%2001.pdf>

※5/21～2015'3/18 (月1回計11回)

\*岐阜県:障がい児医療・福祉を理解する公開連続講座

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kensei-unei/kocho-koho/event-calendar/bosyu/chiiki-iryo/renzoku.html>

5/19～2015'2/19 (月1回計12回)

\*岐阜県:重症心身障がい児者看護人材育成研修の実施について

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kensei-unei/kocho-koho/event-calendar/bosyu/chiiki-iryo/jushin-kango.html>

岐阜県健康福祉部地域医療推進課 障がい児者医療推進室

☆10月 2日(木) 13:00~16:30 鳥取県:米子コンベンションセンター

H26年度地域療育セミナー

豊かで楽しい生活を目指そう これからの100年 ~地域で暮らす重症心身障がい児者~

・開催案内チラシ <http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20141002nc.pdf>

☆10月 4日(土) 13:00~ 新宿養護学校

在宅緩和ケア期における 子どもと家族へのサポートのあり方

・講師: 前田 浩利氏

医療法人はるたか会理事長 あおぞら診療所新松戸院長 東京医科歯科大学医学部臨床教授

参加費: 無料 (ただし非会員は資料代として500円)

\*開催案内&申込書 PDF

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20141004-tokiyo.pdf>

・全国病弱教育研究会 <http://www.maroon.dti.ne.jp/zenbyouken/index.htm>

☆10月18日(土) 13:30~(開場13:00) 大阪発達総合療育センター 5階ホール

第4回ショートステイ連絡協議会

・開催案内チラシ [http://www.kangaeyo-kai.net/info/info140913\\_1.pdf](http://www.kangaeyo-kai.net/info/info140913_1.pdf)

☆10月23日(木) 13:30~16:30 京都府医師会館 3階大会議室

喀痰吸引等研修(第1号、第2号及び第3号)に係る看護職員向け研修会の開催について

ワムネット京都府センター版 障害福祉関連 2014年9月10日

<http://www.wam.go.jp/wamappl/26KYOTO/26bb01kj.nsf/bb01d8a8451715f5492567d00007331a/872842d713ef189d49257d4f002389d6?OpenDocument>

> 高齢者や障害者を地域で支えるしくみを実現するために必要となる介護福祉人材の確保、医療と介護・福祉の連携推進及びサービスの質の向上の推進事業の一環として、よりの確かつ安全に研修を実施するため、下記のとおり研修会を開催いたします。

対象 施設・事業所等で喀痰吸引等に関わられる看護職員の方

内容 「たんの吸引等医療的ケアの医療と介護・福祉の円滑な連携に向けて」

講演 医療・介護・福祉 在宅と施設における喀痰吸引等の連携

~その人らしい生活を支える指導看護師の役割~ 講師 聖隷クリストファー大学 教授 川村 佐和子氏

※その他、詳細についてはプログラムを参照下さい …などが掲載されています。

☆11月 2日(日) 10:00~ 名古屋都市センター (医ケアネットも後援します)

全国重症心身障がい児デイサービス・ネットワーク 基調講演&分科会 設立総会

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20141102-nagoya.pdf>

\*参加募集定員に達したようなので参加申込み募集締め切られています。

☆11月16日(日) 13:30~ 神奈川県立中原養護学校

学習会のご案内「ぼくの・わたしのケアプランをたてて！」

・開催案内チラシ [http://www.kangaeyo-kai.net/info/info141004\\_1.pdf](http://www.kangaeyo-kai.net/info/info141004_1.pdf)

☆11月21日（金） 13:30～16:00 京都府家庭支援総合センター 会議室

平成26年度「医療的ケア」を必要とする障害者の「摂食援助の実際」に関する研修会実施要綱

主催：京都府家庭支援総合センター（京都市東山区清水四丁目185番地1）

電話 075-531-9608（障害グループ専用） FAX 075-531-9610

内容：講演及び実践指導

講演 「医療的ケア」を必要とする障害者の「摂食援助の実際」～ポジショニングと介助方法～

講師 独立行政法人国立病院機構 南京都病院 徳永 修 先生

講義と実践指導 行政法人国立病院機構 南京都病院

作業療法士 柏木 知以子 先生、理学療法士 藤尾 直美 先生

対象：府内の生活介護事業所に勤務する介護職員並びに主に障害児（者）を

担当している訪問介護ヘルパー（京都市内を除く）

参加申し込み締め切りは、10/17（金）まで定員になり次第締め切り。

お問い合わせ・申し込みは、京都府家庭支援総合センターまで

\*詳細開催案内&参加申し込みは下記を

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20141121-kyoto.pdf>

☆11月23日（日）13:00～ 京都アスニー 3階第8研修室

新ブックレット発刊記念シンポジウム

「医療的ケア児者の24時間支援／特定（第3号）研修の経験と今後の課題・いかに拡散するか」（仮）

\*参加費1500円、 医ケアネット会員1000円（当日会員受付可能です）

※ 全国各地での「第3号研修（特定の者）」の経験交流、討論の場になればと。

2012年4月からの介護保険法等の改正により、これまで医療行為とされてきた一部医療的ケア（吸引、経管栄養）が一定の研修（特定・3号研修）の後、福祉、教育職などの非医療職が実施することが可能になりました。研修実施機関認定や各種認定業務は都道府県が担当しています。教育分野では、教育委員会が主体になって、すでに3/4以上の都道府県で研修が定期的実施されてきています。しかし、大半の地域の乳幼児や学校の卒後の事業所では、医療的ケアを必要としている障害児者が受け止められていません。

全国のこれまで研修に取り組んできた地域の具体的な方法と問題点について情報の交換とともに、今後全国の隅々まで医療的ケアの必要な障害児者が自分たちの住む地域で安心・安全な日常生活をおくれるよう支援することを議論したいと思います。

▽基調講演：<いまどうしたら3号研修がひろがるか！>

前厚生労働省専門官：現和洋女子大学准教授／高木憲司さん

▽報告

教育と福祉現場…各地からの報告と討論

\*コーディネーター／杉本健郎さん（NPO法人医療的ケアネット理事長）